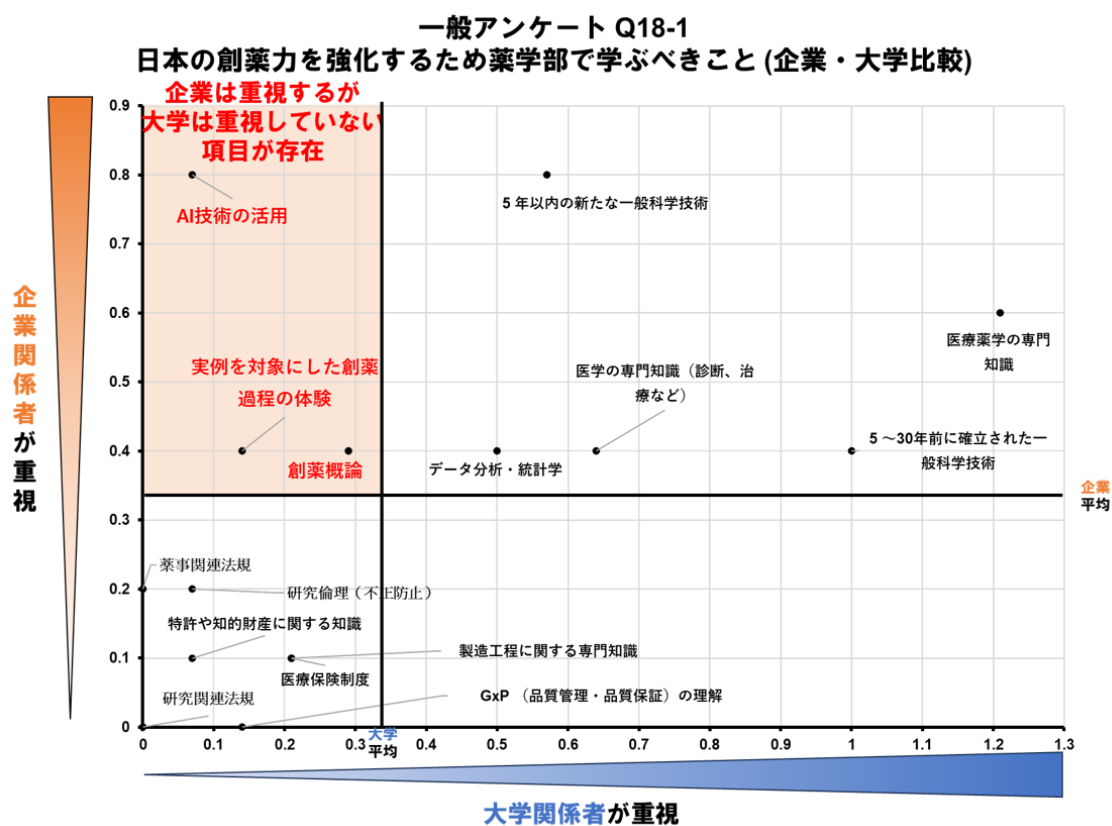


第一回アンケートではご回答いただいた皆様のご所属と創薬力強化のために薬学部で学ぶべき内容についてお伺いしました。その結果、「創薬概論・実例を対象にした創薬過程の体験」と「AI技術の活用」について企業と大学で重視する度合いに差があることがわかりました。

これを受け、第二回アンケートでは「創薬概論・実例を対象にした創薬過程の体験」と「AI技術の活用」について大学で学ぶべき内容と学修深度について更に詳しくお聞きします。

本アンケートは、第一回調査で抽出された重要事項について、今後実際に教育プログラムとして位置づけるか否か、またその具体的内容を検討するための調査です。本調査で得られた結果は、本事業における教育プログラム構築に活用するとともに、次期薬学モデル・コアカリキュラムに対する提言の基礎資料として整理する予定です。



また、第一回アンケートでは自由記述にて「日本の創薬力強化のために薬学教育に期待すること」をお伺いし、「研究環境・研究時間の確保」等の回答が多い結果となりました。下記に前回集計結果を掲載いたします。本調査では、下記をご参照いただいたうえで、この点についてのご意見を改めて自由記述にてお伺いいたします。また薬学教育における研究環境・研究時間の確保のための方策があれば併せてご記入いただければと存じます。

本設問は、教育内容そのものだけでなく、**教育を成立させる制度的・環境的条件の整理**を目的としています。

Q21 日本の創薬力強化のために、薬学教育へ期待すること

Q21 主な意見	
研究力・研究環境	138
基礎教育・基礎研究	137
学習者の質・意識	136
教育カリキュラム・制度	104
創薬教育・研究	102
複合領域・学際的対応力	91
多様性・人材育成	84
臨床教育・臨床力	64
先端技術・新領域	60
ビジネス・産業連携	55
国際性・グローバル教育	53
教育方法・体験型学習	50
キャリア形成・就職	49
制度・構造的課題	49
医療・患者視点	47
実務実習・経験不足	44
倫理・規制対応	43
創造性・発想力	35
コミュニケーション・社会的スキル	24
資格・薬剤師免許	21
教員・教育者の課題	21
資金・予算	21
博士・大学院教育	19
社会的意義・貢献	19
国試・資格試験制度	8
その他	1
なし、分からない	38

Point

- ✓ 研究活動に専念するための時間を増やす
- ✓ 基礎となる知識をしっかりと学ぶこと
- ✓ 研究立案力、粘り強く行動する力、柔軟な思考力、高い倫理観

Pick Up

「製薬会社 信頼性保証」

- ✓ 調剤や臨床薬剤師のようなユーザー側の教育と研究やGMPや薬事的な知識を学ぶ教育を明確に分けて欲しい

Pick Up

「非臨床試験受託企業 CRO」

- ✓ 創薬科学やデータサイエンス、AIなど、次世代の研究に対応できる教育内容の充実

Pick Up

「国公立大学薬学部 学生」

- ✓ 薬局薬剤師の育成だけでなく、創薬研究や製薬企業、医療機関など、多様なステージでの活躍をもっと積極的に促す

第一回アンケートでは「日本の創薬力強化のために薬学教育の課題と感じていること」についてお伺いし「臨床薬剤師養成への偏重」との回答が多いことがわかりました。下記に前回集計結果掲載いたします。本調査では、下記をご参照いただいたうえで、この点についてのご意見を改めて自由記述にてお伺いいたします。また創薬(基礎研究・治験・製造・品質保証など)科学人材を薬学部で養成するための方策があれば併せてご記入いただければと存じます。

Q22 日本の創薬力強化のために、薬学教育の課題(諸外国よりも遅れている点を含む)と感じていること

Q22 主な意見	
国際性・グローバル教育	146
研究力・研究環境	129
資格・薬剤師免許	124
学習者の質・意識	97
臨床教育・臨床力	84
基礎教育・基礎研究	72
教育カリキュラム・制度	64
先端技術・新領域	62
博士・大学院教育	61
ビジネス・産業連携	60
複合領域・学際的対応力	51
資金・予算	48
創薬教育・研究	46
創造性・発想力	44
キャリア形成・就職	41
教員・教育者の課題	31
コミュニケーション・社会的スキル	31
医療・患者視点	27
倫理・規制対応	26
実務実習・経験不足	25
制度・構造的課題	24
多様性・人材育成	22
社会的意義・貢献	16
教育方法・体験型学習	12
国試・資格試験制度	6
その他	11
なし、分からない	113

Point

- ✓ 語学力も含む海外との接点
- ✓ 研究のための時間と資金
- ✓ 薬剤師教育と薬学部での研究を分割できていない

Pick Up

- 「製薬会社 臨床開発」
- ✓ 基礎研究や臨床教育が中心で、創薬を産業応用へつなぐ教育や人材交流がまだ十分でない

Pick Up

- 「臨床試験受託企業 CRO」
- ✓ 「薬剤師養成」に偏りすぎており、創薬研究を担う高度人材育成が諸外国に比べて遅れている

Pick Up

- 「国公立大学薬学部 教員」
- ✓ 創薬力強化のための教育と臨床薬学教育を両方行おうとしてどちらも中途半端になっている